

2020年3月期 第1四半期 決算説明資料

株式会社サニックス
2019年8月8日

1. 2020年3月期 第1四半期 決算概況 P.3

2. 2020年3月期 通期業績見通し P.15

【免責事項】

本資料には、将来の業績予測に関する記述が含まれています。こうした将来の業績予測に関する記述は、将来業績を保証することを意図するものではなく、一定の前提条件と経営陣の現時点で入手可能な情報による判断に基づくものです。従いまして、以下の要因をはじめとする様々な要因により、将来時点における実際の収益及び業績は、業績予測に関する記述と大きく異なる可能性があります。

日本の景気動向、「再生可能エネルギーの固定買取制度」の動向および当該制度に関わる電力会社の動向、他の業者との競争環境、技術革新、規制環境、法律環境及びその他の当社の予測を超える様々な要因。

本資料は当社が発行する証券への投資を勧誘することを企図した資料ではありません。本資料に含まれる情報に基づいて発生した損失・債務に関して、当社は一切の責任を負わない旨をご了承下さい。

(注)

- ・ 数値については、単位未満を切り捨てて表示しております。
- ・ 営業利益、経常利益、当期純利益の”△”表記は、それぞれ営業損失、経常損失、当期純損失を表します。
- ・ 比率がマイナスあるいは1000%を超える値の場合「－」で表示しております。

2020年3月期 第1四半期 決算概況

2020年3月期 第1四半期 連結決算概況

(単位：百万円)

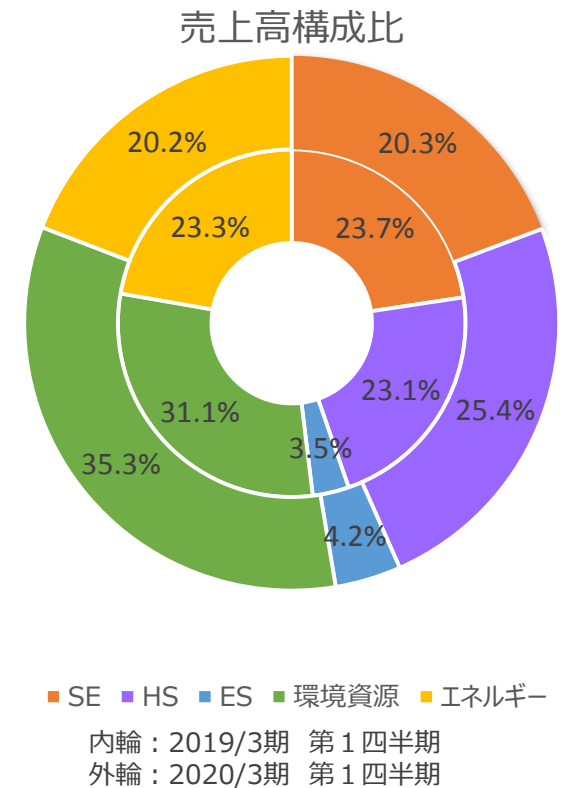
	2019/3期	2020/3期				
	1Q実績	1Q実績	前年同期比	前年同期差異	計画	計画差異
売上高	11,733	11,603	98.9%	△ 130	11,738	△ 134
売上総利益 (売上高売上総利益率)	3,540 30.2%	4,263 36.7%	120.4%	+ 723	4,056 34.6%	+ 207
営業利益 (売上高営業利益率)	103 0.9%	623 5.4%	599.7%	+ 519	247 2.1%	+ 376
経常利益 (売上高経常利益率)	154 1.3%	600 5.2%	387.8%	+ 445	220 1.9%	+ 380
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (売上高四半期純利益率)	111 0.9%	436 3.8%	391.5%	+ 324	160 1.4%	+ 276

- 売上高 前中期経営計画において人員等経営資源の配分を見直し事業規模の拡大を進めたことが寄与し、H S事業部門、E S事業部門がそれぞれ増収となったほか、廃プラスチックの受入物件の精査により環境資源開発事業部門が増収となりました。その一方で、S E事業部門はF I T価格の低下にあわせた太陽光発電システムの販売価格見直しにより、またエネルギー事業部門は主に高圧供給先の件数減少等によりそれぞれ減収となりました。この結果、グループ全体の売上高は11,603百万円（前年同期比1.1%減）となりました。
- 利益 増収を背景としてH S事業部門、及び環境資源開発事業部門はそれぞれ増益となり、減収となったS E事業部門でも材料費をはじめとするコスト削減により増益となりました。この結果、グループ全体の損益は、623百万円の営業利益（前年同期比499.7%増）、600百万円の経常利益（前年同期比287.8%増）、436百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益（前年同期比291.5%増）となりました。

2020年3月期 第1四半期 セグメント別損益実績

(単位：百万円)

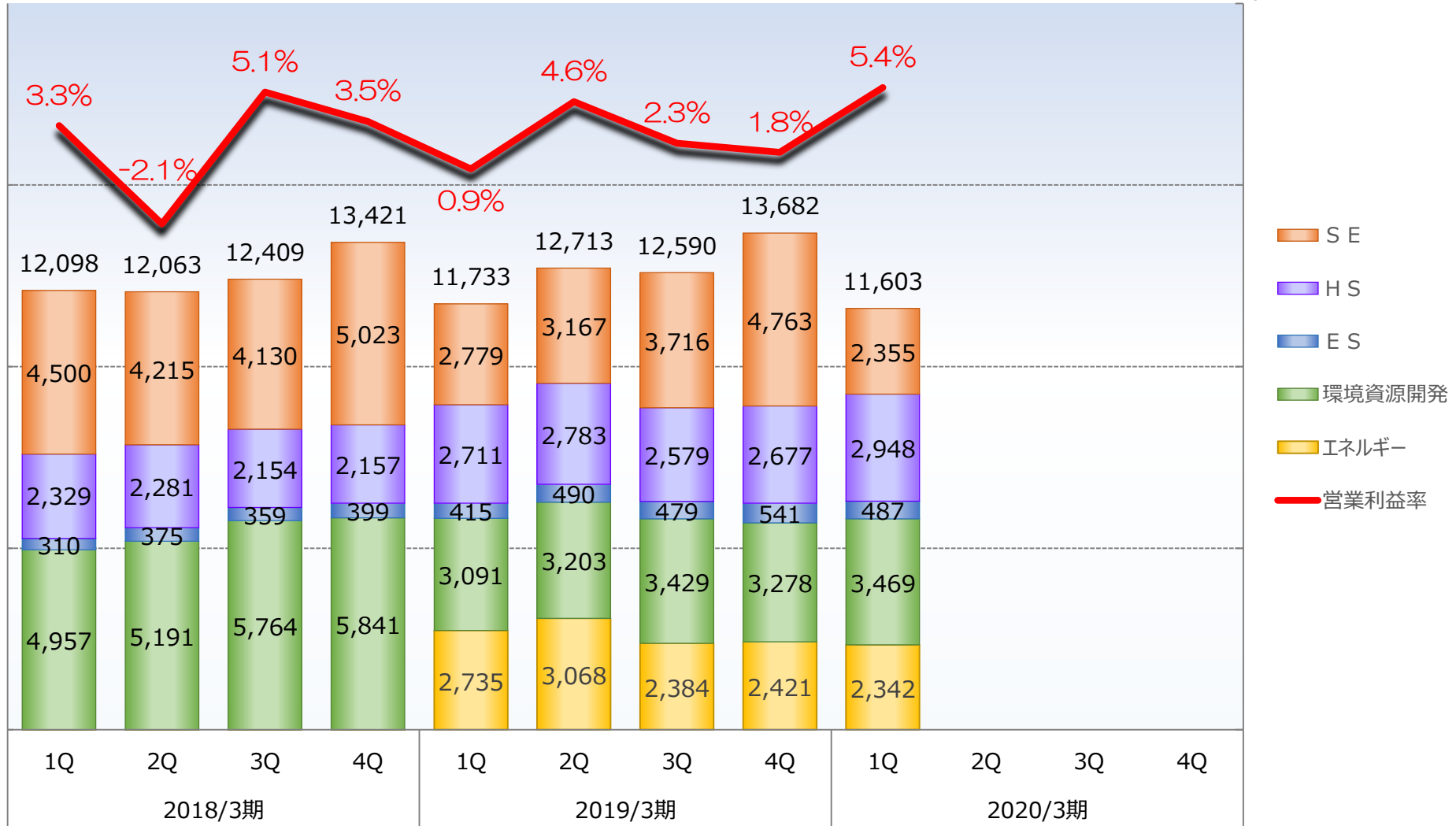
	2019/3期	2020/3期		
	1Q実績	1Q実績	前年同期比	計画
売上高	11,733	11,603	98.9%	11,738
S E 部門	2,779	2,355	84.7%	2,490
H S 部門	2,711	2,948	108.7%	2,960
E S 部門	415	487	117.4%	510
環境資源開発部門	3,647	4,093	112.2%	3,988
エネルギー部門	2,735	2,342	85.6%	2,439
セグメント間の 内部売上高調整額	△ 556	△ 624	—	△ 649
営業利益	103	623	599.7%	247
S E 部門	△ 88	20	—	5
H S 部門	580	655	113.0%	654
E S 部門	52	40	77.5%	25
環境資源開発部門	346	867	250.4%	522
エネルギー部門	93	△ 41	—	21
配賦不能	△ 880	△ 919	—	△ 980



・2019/3期の「環境資源開発部門」「エネルギー部門」および「セグメント間の内部売上高調整額」は、2020/3期との比較のため組み替えて表示しております。

【参考】セグメント別売上高の推移

(単位：百万円)



・「セグメント間の内部売上高調整額」は環境資源開発の売上高から差し引いております。

2020年3月期 第1四半期 セグメント別実績【SE事業部門】

(単位：百万円)

	2019/3期		2020/3期				
	1Q実績	売上比	1Q実績	売上比	前年同期比	計画	計画売上比
売上高	2,779		2,355		84.7%	2,490	
施工売上	2,602	93.6%	2,262	96.1%	87.0%	2,400	96.4%
卸販売	114	4.1%	61	2.6%	53.8%	60	2.4%
その他	62	2.3%	31	1.3%	49.6%	29	1.2%
売上原価	2,018	72.6%	1,541	65.4%	76.4%	1,581	63.5%
うち、材料費等	1,246	44.8%	861	36.6%	69.1%	903	36.3%
うち、労務費	269	9.7%	170	7.2%	63.1%	165	6.6%
売上総利益	761	27.4%	814	34.6%	107.0%	909	36.5%
販売費・一般管理費	849	30.6%	793	33.7%	93.4%	904	36.3%
うち、人件費	415	14.9%	440	18.7%	106.2%	484	19.4%
営業利益	△ 88	—	20	0.9%	—	5	0.2%

太陽光市場の縮小幅は徐々に減少しつつありますが、F I T 価格の低下に対応した販売価格の見直しの影響で「太陽光発電システム」が減収となりました。この結果、売上高は2,355百万円(前年同期比15.3%減)となりました。

営業損益は、減収による影響が大きいものの、H S 事業部門への人員の異動等による経費削減、及び材料原価の低減等を推進したことにより、20百万円の営業利益(前年同期は88百万円の営業損失)となりました。

2020年3月期 第1四半期 セグメント別実績【HS事業部門】

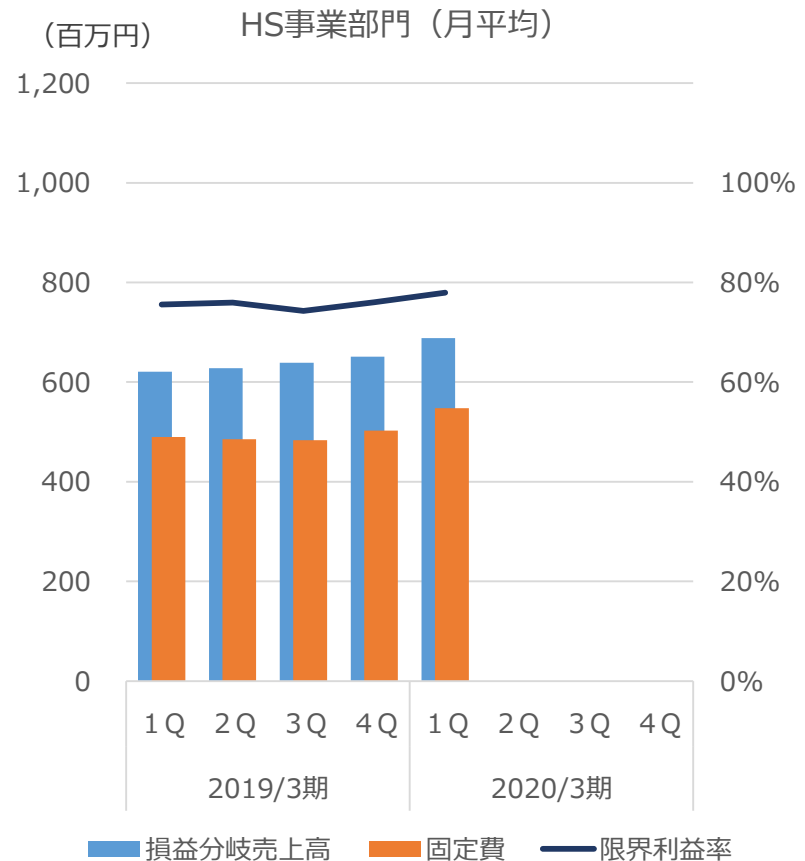
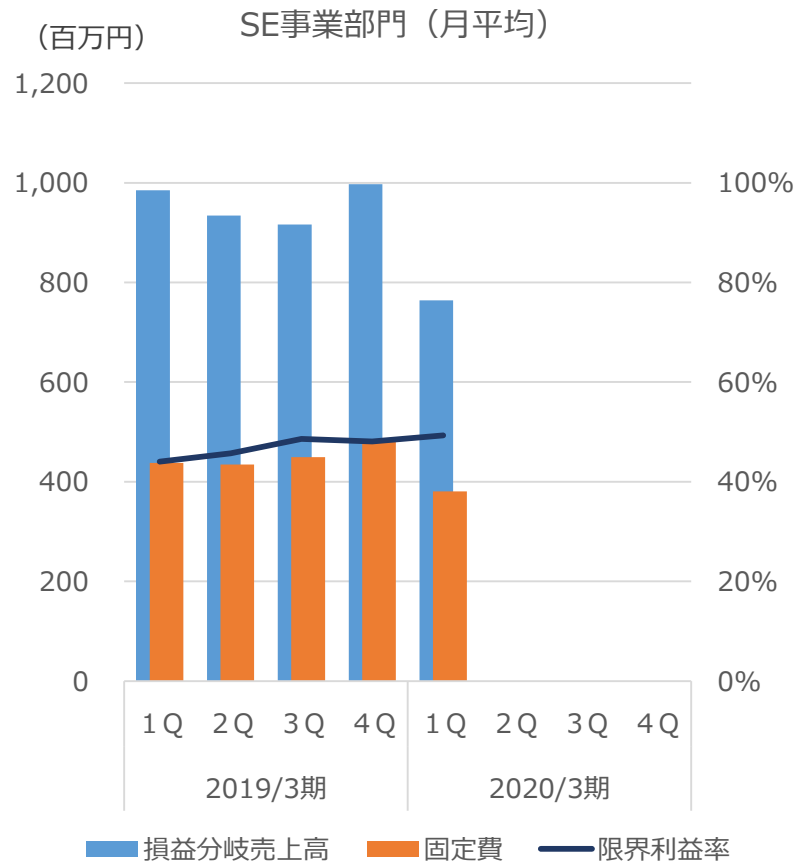
(単位：百万円)

	2019/3期		2020/3期				
	1Q実績	売上比	1Q実績	売上比	前年同期比	計画	計画売上比
売上高	2,711		2,948		108.7%	2,960	
白蟻防除施工	925	34.1%	1,024	34.8%	110.8%	1,052	35.5%
床下・天井裏換気システム	411	15.2%	557	18.9%	135.4%	435	14.7%
基礎補修・家屋補強工事	571	21.1%	517	17.5%	90.5%	607	20.5%
その他	803	29.6%	848	28.8%	105.7%	864	29.2%
売上原価	1,074	39.6%	1,120	38.0%	104.3%	1,171	39.6%
うち、労務費	325	12.0%	372	12.6%	114.6%	375	12.7%
売上総利益	1,637	60.4%	1,828	62.0%	111.7%	1,789	60.4%
販売費・一般管理費	1,057	39.0%	1,172	39.8%	110.9%	1,135	38.3%
うち、人件費	647	23.9%	716	24.3%	110.6%	665	22.5%
営業利益	580	21.4%	655	22.2%	113.0%	654	22.1%

HS事業部門の事業規模拡大を目的に、異動及び採用により人員増を図り、一般家屋に係るメンテナンスについて提案をきめ細かく行えるよう営業及び施工体制を強化してまいりました。「白蟻防除施工」が前年同期比10.8%増、「床下・天井裏換気システム」が同35.4%増となり、この結果、売上高は2,948百万円（前年同期比8.7%増）となりました。

営業損益は、人員増により人件費等のコストが増加したものの、増収幅が大きかったことや、施工効率の改善や外注加工費率の低下などにより、655百万円の営業利益（前年同期比13.0%増）となりました。

【参考】 限界利益率・損益分岐売上高の推移



S E 事業部門の2019/ 3 期の第4四半期は、材料費に棚卸資産評価損として152百万円を計上しているが、上記計算では影響を除いている。

2020年3月期 第1四半期 セグメント別実績【ES事業部門】

(単位：百万円)

	2019/3期		2020/3期				
	1Q実績	売上比	1Q実績	売上比	前年同期比	計画	計画売上比
売上高	415		487		117.4%	510	
売上原価	199	48.1%	234	48.1%	117.3%	255	50.0%
うち、労務費	51	12.4%	60	12.5%	117.7%	60	11.8%
売上総利益	215	51.9%	253	51.9%	117.5%	255	50.0%
販売費・一般管理費	162	39.2%	212	43.6%	130.4%	230	45.1%
うち、人件費	100	24.1%	130	26.7%	130.2%	143	28.2%
営業利益	52	12.6%	40	8.3%	77.5%	25	4.9%

ES事業部門の事業規模拡大を目的に、異動及び採用により人員増を図り、ビル・マンション等のオーナー及び管理会社等提携先との関係を強化してまいりました。主力商品である「防錆機器取付施工（商品名：ドールマンショック）」が前年同期比21.6%増、「給排水設備補修」が前年同期比42.5%増となりました。この結果、売上高は487百万円（前年同期比17.4%増）となりました。

営業損益は、人員増による人件費等のコスト増加が増収による利益増加の効果を上回ったため、40百万円の営業利益（前年同期比22.5%減）となりました。

2020年3月期 第1四半期 セグメント別実績【環境資源開発事業部門】

(単位：百万円)

	2019/3期		2020/3期				
	1Q実績	売上比	1Q実績	売上比	前年同期比	計画	計画売上比
売上高	3,647		4,093		112.2%	3,988	
プラスチック燃料	2,052	56.3%	2,367	57.8%	115.3%	2,291	57.5%
発電所売上	817	22.4%	868	21.2%	106.2%	930	23.3%
有機廃液処理	409	11.2%	475	11.6%	116.1%	460	11.5%
埋立処理	203	5.6%	248	6.1%	122.1%	158	4.0%
その他	164	4.5%	134	3.3%	81.7%	148	3.7%
売上原価	2,859	78.4%	2,764	67.5%	96.7%	3,001	75.3%
うち、労務費	398	10.9%	455	11.1%	114.4%	453	11.4%
売上総利益	788	21.6%	1,329	32.5%	168.6%	987	24.7%
販売費・一般管理費	441	12.1%	461	11.3%	104.5%	465	11.7%
うち、人件費	217	6.0%	257	6.3%	118.5%	254	6.4%
営業利益	346	9.5%	867	21.2%	250.4%	522	13.1%

廃プラスチック類の受入量が減少しましたが受入物件の精査により、「プラスチック燃料」が前年同期比15.3%増、「有機廃液処理」が受入量の増加により前年同期比16.1%増となりました。この結果、売上高は4,093百万円（前年同期比12.2%増）となりました。

営業損益は、廃プラスチック類及び有機廃液処理における受入物件の精査のほか、コスト精査による原価低減等により、867百万円の営業利益（前年同期比150.4%増）となりました。

2020年3月期 第1四半期 セグメント別実績【エネルギー事業部門】

(単位：百万円)

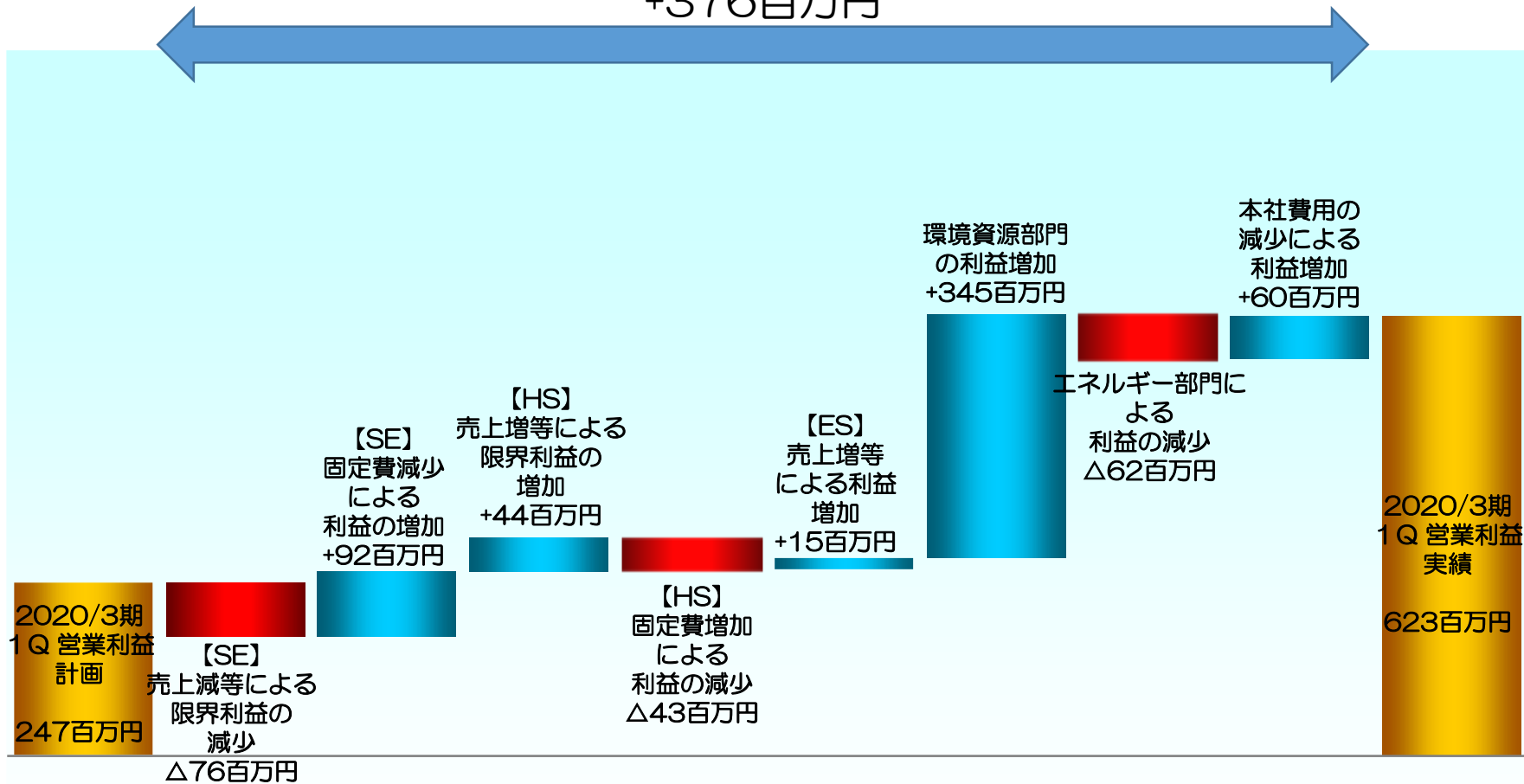
	2019/3期		2020/3期				
	1Q実績	売上比	1Q実績	売上比	前年同期比	計画	計画売上比
売上高	2,735		2,342		85.6%	2,439	
売上原価	2,597	95.0%	2,303	98.3%	88.7%	2,323	95.2%
うち、材料費	2,399	87.7%	2,206	94.2%	91.9%	2,230	91.4%
売上総利益	138	5.0%	38	1.7%	28.1%	116	4.8%
販売費・一般管理費	44	1.6%	80	3.4%	180.6%	95	3.9%
うち、人件費	23	0.9%	46	2.0%	196.0%	52	2.2%
営業利益	93	3.4%	△41	—	—	21	0.9%

高圧契約件数が減少したこと等から電力小売り量が減少したため、売上高は2,342百万円（前年同期比14.4%減）となりました。
営業損益は、売上高減少による影響が大きく、41百万円の営業損失（前年同期は93百万円の営業利益）となりました。

営業利益 増減理由 (第1四半期_計画対実績)

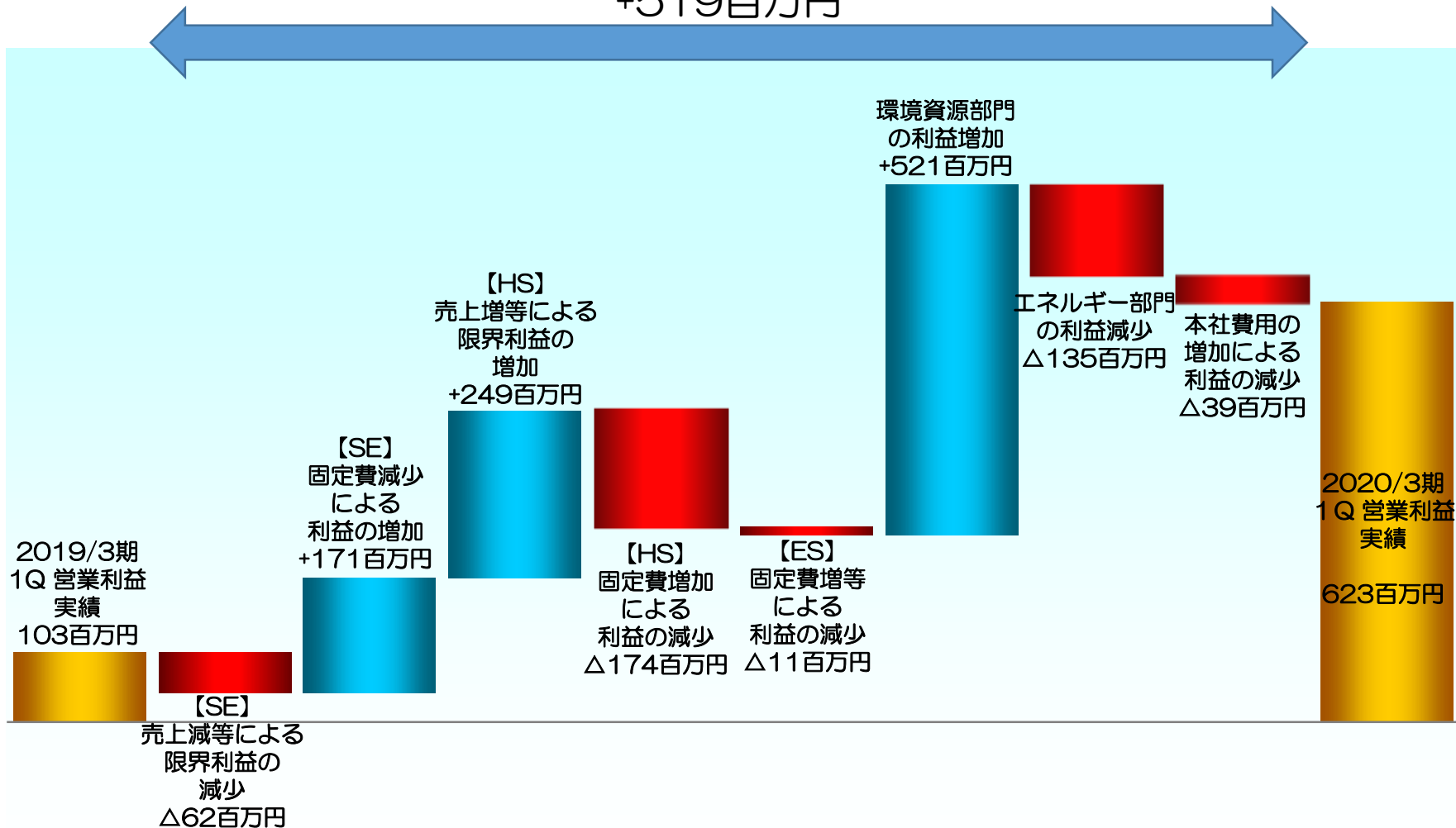


+376百万円



営業利益 増減理由 (第1四半期_前期対今期)

+519百万円



2020年3月期 通期業績見通し

2020年3月期 通期連結業績見通し

業績見通しは2019年5月14日に発表した計画から変更ありません。

(単位：百万円)

	2020/3期					
	上半期		下半期		通期	
	計画	前年同期差異	計画	前年同期差異	計画	前期差異
売上高	24,464	+ 16	26,436	+ 163	50,900	+ 180
売上総利益 (売上高売上総利益率)	8,559 35.0%	+ 1,055	8,651 32.7%	+ 1,324	17,210 33.8%	+ 2,379
営業利益 (売上高営業利益率)	988 4.0%	+ 299	922 3.5%	+ 385	1,910 3.8%	+ 685
経常利益 (売上高経常利益率)	935 3.8%	+ 245	875 3.3%	+ 381	1,810 3.6%	+ 627
親会社株主に帰属する 当期純利益 (売上高当期純利益率)	745 3.0%	+ 550	625 2.4%	+ 579	1,370 2.7%	+ 1,129

当社グループは、「新中期経営計画（2019/4-2022/3）」を新たに策定し、「持続的かつ安定的な経営」を維持しつつ、既存の基盤を一層強化・拡大し、新たな取り組みを軌道に乗せることで、持続可能な成長を図ってまいります。

今期の業績見通しにつきましては、売上高50,900百万円(前期比0.4%増)、営業利益1,910百万円(前期比55.9%増)、経常利益1,810百万円(前期比53.0%増)、親会社株主に帰属する当期純利益1,370百万円(前期比470.5%増)を見込んでおります。

【参考】 セグメント別業績進捗状況

(単位：百万円)

	2019/3期	2020/3期			
	通期実績	1Q実績	1Q進捗率	通期計画	前期差異
売 上 高	50,719	11,603	22.8%	50,900	+ 180
S E 部 門	14,427	2,355	20.3%	11,584	Δ 2,843
H S 部 門	10,752	2,948	25.3%	11,660	+ 907
E S 部 門	1,926	487	20.7%	2,350	+ 423
環 境 資 源 開 発 部 門	14,116	4,093	26.0%	15,775	+ 1,658
エ ネ ル ギ ー 部 門	10,609	2,342	19.6%	11,957	+ 1,347
セグメント間の 内部売上高調整額	Δ 1,113	Δ 624	—	Δ 2,426	Δ 1,313
営 業 利 益	1,224	623	32.6%	1,910	+ 685
S E 部 門	1,204	20	2.7%	785	Δ 419
H S 部 門	2,231	655	30.0%	2,189	Δ 42
E S 部 門	287	40	15.4%	263	Δ 24
環 境 資 源 開 発 部 門	423	867	48.4%	1,791	+ 1,367
エ ネ ル ギ ー 部 門	412	Δ 41	—	462	+ 49
配 賦 不 能	Δ 3,335	Δ 919	—	Δ 3,580	Δ 244

・2019/3期の「環境資源開発部門」「エネルギー部門」および「セグメント間の内部売上高調整額」は、2020/3期との比較のため組み替えて表示しております。

2020年3月期 セグメント別見通し【SE事業部門】

業績見通しは2019年5月14日に発表した計画から変更ありません。

(単位：百万円)

	上半期			下半期			通期		
	計画	売上比	前年同期 差異	計画	売上比	前年同期 差異	計画	売上比	前期差異
売上高	5,280		△ 667	6,304		△ 2,176	11,584		△ 2,843
施工売上	5,100	96.6%	△ 463	6,150	97.6%	△ 1,946	11,250	97.1%	△ 2,410
卸販	120	2.3%	△ 168	120	1.9%	△ 169	240	2.1%	△ 338
その他	59	1.1%	△ 34	33	0.5%	△ 59	93	0.8%	△ 94
売上原価	3,296	62.4%	△ 878	3,789	60.1%	△ 1,776	7,085	61.2%	△ 2,655
うち、材料費等	1,963	37.2%	△ 618	2,480	39.4%	△ 915	4,444	38.4%	△ 1,534
うち、労務費	327	6.2%	△ 196	292	4.6%	△ 203	619	5.3%	△ 399
売上総利益	1,984	37.6%	+ 211	2,515	39.9%	△ 399	4,499	38.8%	△ 188
販売費・一般管理費	1,813	34.3%	+ 95	1,901	30.2%	+ 135	3,714	32.1%	+ 231
うち、人件費	972	18.4%	+ 125	1,054	16.7%	+ 177	2,027	17.5%	+ 303
営業利益	171	3.2%	+ 115	614	9.7%	△ 535	785	6.8%	△ 419

SE事業部門は、FIT価格低下（2019年度は14円/kWh）に対応するべくシステム販売価格を見直すため減収を見込みますが、付帯設備等に係るメンテナンス業務や、土地付き太陽光の販売に注力してまいります。

利益については、人員配置見直しによる人件費やその他固定費の低減に加え、部材等のコストダウンも進めてまいります。減収の影響が大きく減益となる見込みであります。

2020年3月期 セグメント別見通し【HS事業部門】

業績見通しは2019年5月14日に発表した計画から変更ありません。

(単位：百万円)

	上半期			下半期			通期		
	計画	売上比	前年同期 差異	計画	売上比	前年同期 差異	計画	売上比	前期差異
売上高	5,952		+ 456	5,708		+ 450	11,660		+ 907
白蟻防除施工	2,080	34.9%	+ 248	1,716	30.1%	+ 105	3,796	32.6%	+ 354
床下換気・天井裏換気システム	922	15.5%	+ 51	1,035	18.1%	+ 107	1,958	16.8%	+ 159
基礎補修・家屋補強工事	1,178	19.8%	+ 68	1,225	21.5%	+ 209	2,404	20.6%	+ 277
その他	1,770	29.7%	+ 88	1,730	30.3%	+ 27	3,500	30.0%	+ 115
売上原価	2,387	40.1%	+ 219	2,408	42.2%	+ 194	4,795	41.1%	+ 414
うち、労務費	780	13.1%	+ 114	845	14.8%	+ 137	1,625	13.9%	+ 251
売上総利益	3,565	59.9%	+ 237	3,300	57.8%	+ 255	6,865	58.9%	+ 493
販売費・一般管理費	2,305	38.7%	+ 215	2,371	41.5%	+ 320	4,676	40.1%	+ 536
うち、人件費	1,365	22.9%	+ 79	1,521	26.7%	+ 267	2,887	24.8%	+ 347
営業利益	1,260	21.2%	+ 21	929	16.3%	△ 64	2,189	18.8%	△ 42

HS事業部門は、新規開拓、既存顧客のアフター体制をより一層拡充することで、事業基盤を強化してまいります。そのため、採用等による人員増や、店舗出店を行い、新規及び顧客件数の増加を図ってまいります。

利益については、増員分については戦力化するまでの育成期間は費用が先行すること等から、若干の減益となる見込みであります。

2020年3月期 セグメント別見通し【ES事業部門】

業績見通しは2019年5月14日に発表した計画から変更ありません。

(単位：百万円)

	上半期			下半期			通期		
	計画	売上比	前年同期 差異	計画	売上比	前年同期 差異	計画	売上比	前期差異
売上高	1,145		+ 239	1,205		+ 183	2,350		+ 423
売上原価	556	48.6%	+ 122	576	47.8%	+ 75	1,132	48.2%	+ 198
うち、労務費	122	10.7%	+ 16	126	10.5%	+ 15	248	10.6%	+ 32
売上総利益	589	51.4%	+ 116	629	52.2%	+ 108	1,218	51.8%	+ 224
販売費・一般管理費	474	41.4%	+ 130	481	39.9%	+ 118	955	40.6%	+ 248
うち、人件費	299	26.1%	+ 94	326	27.1%	+ 112	625	26.6%	+ 206
営業利益	115	10.0%	△ 13	148	12.3%	△ 10	263	11.2%	△ 24

ES事業部門は、管理会社などの提携先開拓、既提携先の密なフォローによる紹介や、不動産オーナーとの直接商談の機会を増やし、主力商品である「防錆機器取付施工（ドールマンショック）」の販路を拡大してまいります。

利益については、増員分については戦力化するまでの育成期間は費用が先行すること等から、若干の減益となる見込みであります。

2020年3月期 セグメント別見通し【環境資源開発事業部門】

業績見通しは2019年5月14日に発表した計画から変更ありません。

(単位：百万円)

	上半期			下半期			通期		
	計画	売上比	前年同期 差異	計画	売上比	前年同期 差異	計画	売上比	前期差異
売 上 高	7,956		+ 680	7,819		+ 978	15,775		+ 1,658
プラスチック燃料	4,510	56.7%	+ 405	4,578	58.6%	+ 69	9,089	57.6%	+ 474
発電所売上	1,922	24.2%	+ 403	1,733	22.2%	+ 1,144	3,655	23.2%	+ 1,547
有機廃液処理	929	11.7%	+ 3	977	12.5%	△ 56	1,906	12.1%	△ 52
埋立処理	303	3.8%	△ 74	255	3.3%	△ 156	558	3.5%	△ 230
その他	291	3.7%	△ 57	275	3.5%	△ 22	566	3.6%	△ 80
売 上 原 価	5,904	74.2%	+ 215	6,227	79.6%	△ 40	12,130	76.9%	+ 175
うち、労務費	898	11.3%	+ 100	902	11.5%	+ 68	1,800	11.4%	+ 169
売 上 総 利 益	2,052	25.8%	+ 464	1,592	20.4%	+ 1,018	3,644	23.1%	+ 1,483
販売費・一般管理費	924	11.6%	+ 45	929	11.9%	+ 70	1,853	11.7%	+ 116
うち、人件費	499	6.3%	+ 60	495	6.3%	+ 36	994	6.3%	+ 96
営 業 利 益	1,128	14.2%	+ 419	663	8.5%	+ 947	1,791	11.4%	+ 1,367

環境資源開発事業は、プラスチック燃料の品質を高めるため受入物件の精査を進め、利益率及び効率性を改善してまいります。海洋汚染等、廃プラスチックの適正処理が求められる中、当社グループの資源循環型事業がその一翼を担えるよう、苫小牧発電所の安定稼働につなげてまいります。

利益については、発電所の安定稼働、および採算性重視の運営により前期より大幅増益となる見込みであります。なお、下半期には苫小牧発電所において定期点検（およそ1カ月）を予定しております。

2020年3月期 セグメント別見通し【エネルギー事業部門】

業績見通しは2019年5月14日に発表した計画から変更ありません。

(単位：百万円)

	上半期			下半期			通期		
	計画	売上比	前年同期 差異	計画	売上比	前年同期 差異	計画	売上比	前期差異
売上高	5,465		△ 339	6,492		+ 1,686	11,957		+ 1,347
売上原価	5,096	93.2%	△ 365	5,877	90.5%	+ 1,345	10,973	91.8%	+ 980
うち、材料費	4,852	88.8%	△ 220	5,495	84.6%	+ 1,241	10,347	86.5%	+ 1,021
売上総利益	369	6.8%	+ 26	615	9.5%	+ 341	984	8.2%	+ 367
販売費・一般管理費	227	4.2%	+ 137	295	4.5%	+ 180	522	4.4%	+ 317
うち、人件費	128	2.4%	+ 79	182	2.8%	+ 123	311	2.6%	+ 203
営業利益	142	2.6%	△ 111	320	4.9%	+ 160	462	3.9%	+ 49

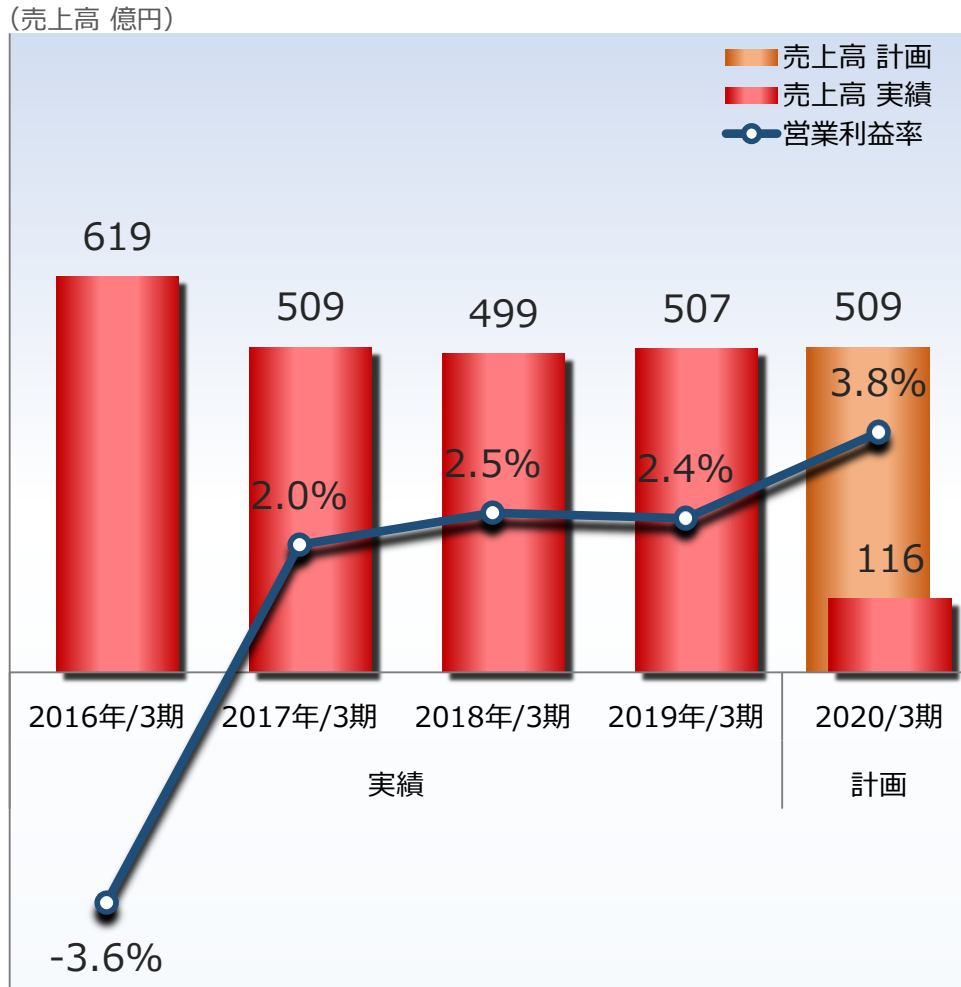
エネルギー事業は、業務提携等により新電力事業の低圧の小売契約数の拡大を図るとともに、他社との協業により、太陽光発電の第三者保有型太陽光発電電力販売事業（PPA）※の展開に注力してまいります。

利益は、新電力事業の営業体制強化、及びPPA展開による人員増等により費用は増加いたしますが、増収の影響により増益を見込んでおります。

※PPAモデル(第三者保有型太陽光発電電力販売事業)

顧客（電力消費者＝戸建て住宅の家主）の屋根に事業者が太陽光発電パネルを設置し所有する。事業者はそこで発電した電気を顧客に販売するとともに、太陽光発電の余剰電力を電力会社に売電する。また、太陽光で賅えない時間帯の電力についても顧客へ販売することで、事業者は収益を得る事業モデル。

業績見通しは2019年5月14日に発表した計画から変更ありません。



2020年3月期見通し

売上高 :	50,900百万円
営業利益 :	1,910百万円
営業利益率 :	3.8%